

# メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第129号

〔2021年12月発行〕

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。  
JAMより、2021年12月号の会報をお送りします。

JAMは2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。  
支援者の皆様へJAMの最新の活動を2カ月に一度、会報メールにて発信いたします。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## <目次>

賛助会員の皆様へ 会員更新のお願い

ご支援くださいました皆様へ JAMオリジナルカレンダーをお届けします

現地（メソト）から

国内から

国際保健医療協力のなかで（49）

編集後記

次号の予定



## 賛助会員の皆様へ 会員更新のお願い

平素よりメータオ・クリニック支援の会（JAM）の活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、賛助会員の皆様へ会員の更新をお願いしたく、ご連絡いたします。

当会は賛助会員の更新時期を年末に揃えさせていただいております。

今回、令和2年7月～令和3年6月までにご入会および更新してくださいました皆様へご案内させていただきます。

これまで JAM の活動を応援してくださり、誠にありがとうございました。引き続きご支援を賜りたく、ご賛同いただける方は下記の要領にて会員更新の手続きを宜しくお願いいたします。

更新の対象となる皆様には、年内に JAM オリジナルカレンダーと共にご案内の文書を郵送いたします。ご不明な点は、事務局 ([support@japanmaetao.org](mailto:support@japanmaetao.org)) までお問い合わせください。

### 更新の対象となる方：令和2年7月～令和3年6月までに入会および更新いただいた皆様

会員期間は令和3年12月末をもちまして終了となります。

更新いただける場合は、お手数ですが令和4年1月末までに手続きをお願いいたします。

更新後の会員期間は令和4年12月末までとなります。

すでに会員期間が過ぎてしまった皆様におかれましても、新たに賛助会員としてご支援いただきましたら大変有り難く存じます。手続きの方法は同じです。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、更新を希望されない方につきましては、手続きはご不要です。またご支援いただける機会をお待ちしております。

### 賛助会員 更新手続き（年会費入金）の方法について

#### ■下記の年会費をお振込みください。

ホームページ ([www.japanmaetao.org](http://www.japanmaetao.org)) からクレジットカード決済も可能です。

「あなたとできること」→「賛助会員になる」の下「クレジットカードによるお申し込みはこちら」へお進みください。

<年会費> 一般会員： 3,650円/年  
学生会員： 1,825円/年  
法人会員： 36,500円/年

<振込先口座>

ゆうちょ銀行（銀行コード 9900）

支店名：〇一八（ゼロイチハチ）

口座名義：NPO 法人 メータオ・クリニック支援の会  
（カタカナ） トクヒ）メータオ クリニックシエンノカイ

口座番号：10140-8960841

\*他行からのお振込みの場合 普通 0896084



（写真：渋谷敦志氏）

※ 当会が入金の確認をもって手続き完了となります。メールにてお知らせいたします。

#### ■注意事項

・住所、氏名、メールアドレスに変更がある場合、振込名義がご本人でない場合は、事務局 ([support@japanmaetao.org](mailto:support@japanmaetao.org)) までご連絡ください。

※ 期限を過ぎてからご入会される場合は、ホームページより新規の方法でお手続きください。



ご支援くださいました皆様へ

JAM オリジナルカレンダーをお届けします

先ほどの記事でもご案内いたしましたが、毎年恒例のJAMオリジナルカレンダーをご登録いただいているご住所宛にお送りいたします。年内には到着予定です。

例年、スタディツアー参加者の方々や現地派遣員が撮影した写真を使っておりますが、今年はクリニックスタッフが撮影した写真から選びました。

会員更新の時期が来ている方には、カレンダーと共に更新のご案内の文書を同封させていただいておりますので、どうぞ引き続き、ご更新いただけましたら幸いです。

なお、年が明けてもカレンダーがお手元に届いていない場合は、お手数をおかけいたしますが、事務局までお問合せいただきたく存じます。

現地（メソト）から

【メソト：有高】

2021年はミャンマー、そしてメータオ・クリニックにとって激動と試練の一年でした。2月1日のクーデター以降にミャンマー全土で亡くなった方は政治犯支援協会（The Assistance Association for Political Prisoners, AAPP）によると、12月16日時点で1345人にのぼります。死者は単なる数字ではなく、それぞれが自分の人生を生きてきた唯一無二の存在であるということを示すために、AAPPは一人ひとりの氏名、亡くなった状況を出来るだけ詳しく調査し、ウェブサイトで報告しています。AAPPの本部はメソトにあり、1988年からほぼ10年ごとに繰り返される民主化弾圧の歴史に関する資料、亡くなった方の写真、政治犯を収容する独房を再現した部屋などが展示されています。

この11月にメソトを訪問した西日本新聞の川合秀紀記者の記事によると、今年のクーデター以降に亡くなった方々の写真も新たに展示され、日々増え続けているとのこと。私は2019年にAAPPを訪問しましたが、あのやや古めかしい空間に新しい写真が付け加えられているという現実に言いようのない無残さを感じます。

川合記者はメータオ・クリニックでシンシア院長にインタビューもされ、読み応えのある記事を西日本新聞に連載され、WEBでも読むことができます。是非ご一読ください。（川合記者の許可を得て掲載しています）。

㊤…「反国軍」数百人が密入国…タイ国境のミャンマー人“秘密アジト” | 【西日本新聞 me】

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/838359/>

㊦…難民として、医師として 助けを求めてくる患者の肩書は二の次 | 【西日本新聞 me】

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/838800/>

㊧…中立と支援の現場に生きる「もう1人のアウン・サン・スー・チー」 | 【西日本新聞 me】

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/839243/>

12月5日、ヤンゴンで反軍政デモをしていた若者たちに国軍の兵士が車で突っ込み、5人が死亡した事件は日本でも報道されましたが、情報の少ない少数民族エリアでも、国軍と少数民族武



装勢力の戦闘は断続的に続いています。メソト対岸のミャワディから10KmほどのLay Kay Kawでは12月15日から国軍と少数民族武装勢力との戦闘が起き、2000人以上が森などに避難し、一部はタイ側に逃れたようです。カレン州、カレニー州、モン州およびシャン州の避難民へは、現在も各民族医療団体の要請に応じて、メソトから支援物資の輸送が続けられています。最近はその地域でも新型コロナウイルス感染症の発生数は減少していますが、まだ个人防护具やコロナの抗原検査キット、また清潔分娩キットなどの医療用品の輸送が多いとのこと。

私は1月から、また2月以降はJAMメンバーである東山諒子もメソトに現地派遣員として赴任する予定であり、今から身の引き締まる思いです。

2022年もメータオ・クリニックおよびJAMをよろしく願いいたします。そして皆さま、よいお年をお迎えください。



写真左 ミャワディ近郊から避難する人々 (Karen Peace Support Network FB より)



写真右 避難先での食事風景 (Karen Peace Support Network FB より)





写真① ミャワディ近郊からタイ側に避難する人々 (Karen Thai Group FB より)



写真② カレニー州への支援物資の輸送 (メータオ・クリニック関連医療団体より)



写真③ カレニー州での物資輸送 (メータオ・クリニック関連医療団体より)



写真④ カレニー州で生まれた赤ちゃんとお産キット（メータオ・クリニック関連医療団体より）

## 国内から

【日本事務局：佐藤】

みなさまこんにちは。メータオ・クリニック支援の会（JAM）事務局の佐藤と申します。みなさまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

私が JAM と出会ったのは、2014 年に JAM の小林代表の教室の修士学生になったことに始まります。JAM が毎年夏に開催していたスタディツアーの企画運営を担当し、事務局の活動をお手伝いするようになり、現在に至ります。早いもので7年がたちました。修士課程修了後は別の NPO 法人に所属し、JICA 草の根技術協力事業で母子保健課関係プロジェクトのためにラオスに2年間滞在し、2018年12月に帰国しました。

私は現在、保健所の保健師として働いています。新型コロナウイルス感染症により、みなさまが保健所の存在を認識してくださっていますが、保健所保健師の仕事は感染症対策以外にもいろいろな仕事があります。今回は私の普段の仕事や私が感じていることをお話ししたいと思います。

私の所属する班は、母子保健と障害者に関することを担当していますが、保健師の業務としては精神障害を抱える人の支援の割合が大きいです。正直なところ、私は精神関係はあまり興味がありませんでした。保健所に配属されることが分かった際も、精神関係よりは感染症関係の仕事がしたいな（COVID-19 が出てくる前です。）と思っていました。看護学生時代の精神看護学実習にもあまりいい思い出がありません。病院看護師の経験もありましたが、大きな総合病院であったため、明らかな精神障害のある方の対応をしたこともありませんでした。

通常の業務としては、統合失調症や双極性感情障害（そううつ病）の方の家庭訪問をして体調確認や生活上の困りごとの相談に乗ったり、アルコール依存症の方やその家族への支援、引きこもり者とその家族への支援が多いです。電話での相談や、精神科受診への同行、入院中の方に会いに行くこともあります。精神科を受診し、医療で支えられる方は、保健所にはつながってきま



せん。保健所に相談が来るケースというのは、精神科受診はしていても入退院を繰り返したり、本人に病識がなく医療中断となっていたり、家族をはじめ周囲の人に迷惑をかけておりどうすることもできないというケースです。精神障害があっても家族に本人を支えられる力があるうちは、医療や福祉サービスを利用しながら地域での生活を送っています。家族が高齢になって家族だけでは支えられなくなってきたなど環境の変化による精神症状の悪化が多い印象です。簡単に解決策が出来ることはほとんどありませんが、家族や市町村保健師や担当ケアマネージャーらと、どうしたらいいか一緒に悩み、精神科医からスーパーバイズをもらいながら対応を考えています。

当会が支援している難民・移民はヴァルネラブルな方々です。しかし、私たちの身近にも目には見えない障害をもったヴァルネラブルの方々がいます。障害を持っている人も住みやすい地域づくりは保健師の仕事であり、行政の仕事です。みなさまにも自分の周りにもそのような方々いるということ、保健師がこのような活動をしていることを知っておいて欲しいと思っています。

## 国際保健医療協力のなかで (50)

【小林 潤】

外務省から JAM を通じた移民・難民への大規模プロジェクトの支援が決定されました。申請までのプロセス、さらに承認をえるまでに関わった多くの人達に感謝申し上げます。職、社会的立場、政治的なスタンス、それぞれが違う多くの人たちが関わったのだと思いますが、ミャンマーの混乱、新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響を強く受けている、海外の移民・難民といった弱い立場の人に支援が必要であるということは共通の理解だったと、心から感動しています。国際協力を仕事にしているネットワークのなかでは、「市民からは今は海外支援をやる時ではないと思われる」といった恐れに近いような声をよく聞いてきました。しかし今回そんな声は全く入ってきませんでした。

ミャンマーは、東南アジアは、我々には身近な同胞と考える人が多いのかもしれませんが。アフリカをフィールドとしている人達からも「すぐそばのアジアで起きていること」といった思いを聞いたことがあります。アフリカのことをほっておいていいとは思いませんが、日本人にとってのミャンマーというのは、少し近いと思えるのは事実だったと思います。

新年早々に大規模プロジェクト開始です。自ら現地へ行って動きたいと思うことは何回もありました。人生のなかでのタイミングを合わせる必要があります。今回難しいのは事実です。しかし素晴らしい仲間が2名現地へ行ってくれます。彼らが動けるように下支えをしたいと思います。

長年ご支援を頂いている皆様、今回の混乱で新しく支援をいただいている皆様、本当にありがとうございます。よいお年をお迎えください。

## 編集後記

最近、わが家に再び「鬼滅の刃」ブームが到来しています。去年、書店でコツコツと買い集めた漫画も読み返し、アニメは、こっそり夜中にリアルタイムで見ようと思ったのですが、一人で見るにはなんだか怖かったので外が明るい時間に録画したものを観ています。お正月は、鬼滅の刃人生ゲームを楽しむことになりそうです。





今年もお世話になり、本当にありがとうございました。来年も引き続き、どうぞよろしく願いします。

## 次号の予定

次号は、2月下旬ごろ配信の予定です。

最新情報は、インスタ、ツイッター、ホームページでも、随時更新していきますのでぜひ、お時間があるときにご覧ください。

メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さり、心より御礼を申し上げます。JAMの活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。支援の輪が広がっていきけるよう、どうぞ当会のFacebookもフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1日10円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。

【一般会員】3,650円/年      【学生会員】1,825円/年      【法人会員】36,500円/年  
当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。



## NPO法人メータオ・クリニック支援の会 Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

日本事務局宛て Eメール	support@japanmaetao.org
JAMウェブサイト	www.japanmaetao.org
Facebook	Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索して下さい。 <a href="https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/">https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/</a>
Instagram	<a href="https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/">https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/</a>
Twitter	<a href="https://twitter.com/japanmaetao">https://twitter.com/japanmaetao</a>

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。





